

令和7年度事業報告

本会議は、地域における需要に応じた市民の生活に必要な交通手段の確保と旅客の利便の増進を図るため、以下の点について協議及び実施に係る連絡調整を行っています。

1. 地域公共交通計画の策定及び実施に係る連絡調整
2. 地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項の協議
3. 地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱の規定に基づく生活交通確保維持改善計画の策定に関する協議

令和7年度は、各項目について以下のとおり実施しました。

1. 地域公共交通計画の策定及び実施に係る連絡調整

(1) 計画（山県市地域公共交通計画）の実施

①計画（山県市地域公共交通計画）の概要

計画の区域	山県市全域
計画の期間	令和6年度～令和10年度（5年間）
基本方針	どの世代においても住みよい、 便利で快適なまちを実現する地域公共交通体系の構築
目標	1. 公共交通ネットワークの維持・構築 2. 公共交通を利用しやすい環境の整備 3. 公共交通の利用促進 4. まちづくりと公共交通の連携強化
実施事業	<u>目標 1 公共交通ネットワークの維持・構築</u> 1 幹線バス路線の維持 2 自主運行バスの維持・見直し 3 乗り継ぎを考慮したダイヤ設定 4 新モビリティに関する情報収集 5 運転手確保に対する支援
	<u>目標 2 公共交通を利用しやすい環境の整備</u> 1 バス停環境の整備 2 通学定期補助制度の創設 3 定期券適用範囲の拡大 4 割引運賃の適用 5 企画乗車券の発行 6 地域バス調整会議等の開催
	<u>目標 3 公共交通の利用促進</u> 1 公共交通ガイドブック等によるこまめな情報提供 2 I C Tを活用した情報発信 3 多様な主体と連携した公共交通の P R 4 バス乗車のきっかけとなるイベントの開催
	<u>目標 4 まちづくりと公共交通の連携強化</u> 1 都市の拠点間を結ぶ公共交通ネットワークの強化 2 山県バスターミナルの設備、利便性の P R 3 山県バスターミナル周辺でのイベント開催

②令和7年度の事業実施状況

目標	事業内容	実施主体	実施状況
目標1 公共交通 ネットワークの維持・構築	1 幹線バス路線の維持	市・交通事業者	・路線維持を継続する ・岐北線の路線短縮に伴う代替運行として、神崎山県BT線による塩後系統、神崎系統の土日祝日運行
	2 自主運行バスの維持・見直し	市・交通事業者	下記を令和7年4月より運行開始 ・岐北線の路線短縮に伴う代替運行として、神崎山県BT線による塩後系統、神崎系統の土日祝日運行 ・神崎系統の円原・伊往戸ルート of 運行 ・市街地巡回線の東西ルートの便数調整し東ルート水曜運行追加
	3 乗り継ぎを考慮したダイヤ設定	市・交通事業者	・路線改訂において乗り継ぎを考慮したダイヤ設定を行った
	4 新モビリティに関する情報収集	市・交通事業者	・国や県等が主催するフォーラム等に参加し、情報収集を行った
	5 運転手確保に対する支援	市・交通事業者	・事業者の運転手確保に必要な事項を継続して実施していく
目標2 公共交通を利用しやすい環境の整備	1 バス停環境の整備	市	・ハリヨ公園に待合ベンチを設置
	2 通学定期補助制度の創設	市	・継続して要望する ・令和7年4月から学生用回数券を500円で販売(100円×11枚つづり)
	3 定期券適用範囲の拡大	市・交通事業者	・令和6年4月1日より岐北線の定期券で神崎山県 BT 線及び美山地域デマンド型交通に乗車できることを周知
	4 割引運賃の適用	市・交通事業者	自主運行バスにおいて以下の取組を継続 ・障がい者(障がい者の介助者1名)、小学生、高齢者は無料 ※障がい者手帳証の提示が必要 ・運転免許証自主返納者の運賃半額 ※運転経歴証明書の提示が必要

目標	事業内容	実施主体	実施状況
	5 企画乗車券の発行	市・交通事業者	・岐阜バスのホリデーパス、昼得きっぷに岐北線、板取線、ハーバスが対応（昼得きっぷはハーバス対象外）
	6 地域バス調整会議等の開催	市民・市・交通事業者	・未実施
目標 3 公共交通の利用促進	1 公共交通ガイドブック等によるこまめな情報提供	市・公共交通会議	・令和7年10月と令和8年4月のダイヤ改正に伴い、ガイドブックを修正 ・HP掲載、山県BT待合所等で配布
	2 ICTを活用した情報発信	市・交通事業者	・GTFSデータの提供（Google検索等で自主運行バス（デマンド除く）が検索可能）
	3 多様な主体と連携した公共交通のPR	市民・市・交通事業者	・保育園の園外保育での利用促進（園児と引率者の運賃免除）
	4 バス乗車のきっかけとなるイベントの開催	市・交通事業者	・山県市子ども会育成イベントにてバス乗り方講座の実施
目標 4 まちづくりと公共交通の連携強化	1 都市の拠点間を結ぶ公共交通ネットワークの強化	市・交通事業者	・事業者と連携して近隣都市とのネットワークを維持・強化する
	2 山県バスターミナルの設備、利便性のPR	市・周辺施設	・令和6年度より高架下駐車場において、長期利用の事前申請をオンライン化（駐車場にQRコードを掲示することでその場でスマホから申請可能）
	3 山県バスターミナル周辺でのイベント開催	市・周辺施設	・JAと岐阜バス、市の三者会議を3か月に1回（年4回）実施 ・バスターミナル周辺のにぎわい創出を3月に実施

2. 地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項

(1) 運賃協議分科会（令和7年7月書面協議）

①岐阜バス「ホリデーパス」の価格改定について

岐北線、岐阜板取線、ハーバス伊自良・大桑線、ハーバス岐大病院線においても利用可能なホリデーパスの価格改定について協議し、承認した。

(2) 運賃協議分科会（令和7年10月書面協議）

①岐阜バス「昼得きっぷ」の適用期間延長について

岐北線、岐阜板取線においても利用可能な「昼得きっぷ」について、適用期間延長について協議し、承認した。

(3) 第2回会議（令和8年1月30日開催）

①神崎山県 BT 線の変更について

交通量が多い通勤・通学時間帯の児童の安全確保のため、神崎行0便（スクールバス運用）についてのルート変更について協議し、承認した。

②市街地巡回線の変更について

道路の傾斜があり降車が困難との意見があり令和7年4月から旭ヶ丘地区においてフリー降車区間を拡張することについて協議し、承認した。

③事業者協力型自家用有償旅客運送の更新について

事業者協力型自家用有償運送による神崎山県 BT 線及び美山地域デマンド型交通の更新登録について協議し、承認した。

3. 生活交通確保維持改善計画の策定

(1) 第1回会議（令和7年6月25日開催）

①令和8年度地域公共交通確保維持事業に係る山県市地域公共交通計画の別紙（案）について

地域公共交通の確保・維持・改善のため、計画別紙（案）について協議し、策定した。

(2) 第2回会議（令和8年1月30日開催）

①地域公共交通確保維持改善事業 事業評価について

令和7年度に実施した地域公共交通確保維持改善事業について事業評価を行った。

令和 7 年度山県市公共交通会議 歳入歳出決算書

1 歳入 単位：円

科目			予算額	決算額	比較増減額	説明
款	項	目	(A)	(B)	(B-A)	
1	負担金		1,000	1,000	0	
	1	負担金	1,000	1,000	0	
		1 負担金	1,000	1,000	0	
2	国庫補助金		5,333,000	5,011,000	△ 322,000	フィーダー系統補助上限額の
	1	国庫補助金	5,333,000	5,011,000	△ 322,000	改定に伴う減額
		1 国庫補助金	5,333,000	5,011,000	△ 322,000	
3	繰越金		173	173	0	
	1	繰越金	173	173	0	
		1 繰越金	173	173	0	
4	諸収入		0	0	0	
	1	預金利子	0	0	0	
		1 預金利子	0	0	0	
合計			5,334,173	5,012,173	△ 322,000	

2 歳出 単位：円

科目			予算額	決算額	比較増減額	説明
款	項	目	(A)	(B)	(B-A)	
2	事業費		5,334,000	5,011,660	△ 322,340	
	1	事業費	5,334,000	5,011,660	△ 322,340	
		1 事業費	5,334,000	5,011,660	△ 322,340	
3	予備費		173	0	△ 173	
	1	予備費	173	0	△ 173	
		1 予備費	173	0	△ 173	
合計			5,334,173	5,011,660	△ 322,513	

※ 各科目間の予算は、相互に流用できるものとする。
歳入歳出差引残額 513円は、令和 8 年度へ繰り越す。
(歳入決算額 5,012,173円－歳出決算額 5,011,660円＝歳入歳出差引残額 513円)

令和 7 年度山県市公共交通会議の会計書類を監査した結果、
適切に処理、記載されていることを認める。

令和 8 年 6 月 1 2 日

監事 山口 一美

※印影の複製防止のため、押印済の決算書については別途事務局で保管

令和 8 年度事業計画（案）

本会議は、地域における需要に応じた市民の生活に必要な交通手段の確保と旅客の利便の増進を図るため、以下の点について協議及び実施に係る連絡調整を行っています。

1. 地域公共交通計画の策定及び実施に係る連絡調整
2. 地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項の協議
3. 地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱の規定に基づく生活交通確保維持改善計画の策定に関する協議

令和 8 年度は、各項目について以下のとおり実施します。

1. 地域公共交通計画の策定及び実施に係る連絡調整

（1）山県市地域公共交通計画に規定する事業内容に対する令和 8 年度実施事業

番号	事業内容	実施内容
1-1	幹線バス路線の維持	・運行事業者に対し、運行を継続していくために必要な補助を行う。 ・利用状況について評価を行い、課題に対する対応方針を検討する。
1-2	自主運行バスの維持・見直し	・利用者の少ない区間の運行見直しを検討する。
1-3	乗り継ぎを考慮したダイヤ設定	・交通結節点での乗継時間を考慮したダイヤで引き続き運行する。
1-4	新モビリティに関する情報収集	・国等が開催するシンポジウム等に参加し、AI や MaaS 等の新モビリティに対する情報収集をする。
1-5	運転手確保に対する支援	・交通事業者と連携し、人材確保に向けた広報活動をする。 ・交通事業者と連携しながら効率的な運行を実施する。 ・運転手不足に対する施策を積極的に情報収集する。
2-1	バス停環境の整備	・山県市役所に待合ベンチを設置する。
2-2	通学定期補助制度の創設	・令和 8 年度より実施する。
2-3	定期券適用範囲の拡大	・令和 6 年 4 月 1 日より岐北線の定期券で神崎山県 BT 線及び美山地域デマンド型交通に乗車できるよう実施済。 ・公共施設等でチラシを配布するとともに、中学生保護者に向けて案内をする。
2-4	割引運賃の適用	・後期高齢者、障がい者、子どもへの運賃割引（無料）と運転免許証自主返納者への運賃割引（半額）を継続する。 ・交通系 IC カードが利用可能な路線で、乗り継ぎ割引を継続する。
2-5	企画乗車券の発行	・交通事業者が発行する一日乗車券等の企画乗車券を自主運行バスでも引き続き利用できるようにする。

番号	事業内容	実施内容
2-6	地域バス調整会議等の開催	・ 自主運行バスの維持・見直しを検討する地域において地域バス調整会議を開催する。
3-1	公共交通ガイドブック等によるこまめな情報提供	・ ダイヤ改正に合わせて公共交通ガイドブックを更新する。
3-2	I C Tを活用した情報発信	・ 令和 6 年 3 月より全路線の GTFS データを整備済。常に最新の状態となるよう年 1 回以上更新をする。 ・ 岐阜バス運行路線でバスロケーションシステムを継続する。
3-3	多様な主体と連携した公共交通の P R	・ 保育園等に対し、イベント等での移動に自主運行バスを利用するよう案内する。 ・ 出前講座にバスの乗り方教室を設け、新規利用者の確保を目指す。
3-4	バス乗車のきっかけとなるイベントの開催	・ 栗まつりで公共交通ブースを出展する。
4-1	都市の拠点間を結ぶ公共交通ネットワークの強化	・ 各拠点と交通結節点を結ぶ路線を引き続き運行する。 ・ 交通結節点での乗継時間を考慮したダイヤで引き続き運行する。
4-2	山県バスターミナルの設備、利便性の P R	・ 市ホームページや広報紙等で山県バスターミナルについて P R する。
4-3	山県バスターミナル周辺でのイベント開催	・ バスターミナルに関わる事業者と運用・調整会議を年 4 回開催する。 ・ にぎわい創出イベントを実施し、公共交通ブースを出店する。

2. 地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項

(1) 利用者の少ない区間の路線見直しについて

関係機関と個別に調整を行いながら、路線等について維持、見直し又は利用者増加に向けた協議を行う。

3. 生活交通確保維持改善計画の策定

(1) 第 1 回会議（令和 8 年 6 月 23 日）

①地域公共交通確保維持事業における公共交通計画の別紙（案）について
地域公共交通の確保・維持・改善のため、計画（案）について協議する。

(2) 第 2 回会議（令和 9 年 1 月予定）

①地域公共交通確保維持事業 事業評価について

令和 8 年度に実施した地域公共交通確保維持事業について事業評価を行う。

令和 8 年度山県市公共交通会議 歳入歳出予算書

資料 4

1 歳入

単位：円

科目			本年度 予算額	前年度 予算額	比較	説明
款	項	目				
1	負担金		1,000	1,000	0	
	1	負担金	1,000	1,000	0	
		1 負担金	1,000	1,000	0	
2	国庫補助金		5,333,000	5,333,000	0	
	1	国庫補助金	5,333,000	5,333,000	0	
		1 国庫補助金	5,333,000	5,333,000	0	令和7年度フィーダー系補助 の上限額を参考
3	繰越金		513	173	340	
	1	繰越金	513	173	340	
		1 繰越金	513	173	340	
合計			5,334,513	5,334,173	340	

2 歳出

単位：円

科目			予算額	前年度 予算額	比較	説明
款	項	目				
2	事業費		5,334,000	5,334,000	0	
	1	事業費	5,334,000	5,334,000	0	
		1 事業費	5,334,000	5,334,000	0	ハーバス伊自良・大桑線の フィーダー系補助と振込手数料
3	予備費		513	173	340	
	1	予備費	513	173	340	
		1 予備費	513	173	340	
合計			5,334,513	5,334,173	340	

※ 各科目間の予算は、相互に流用できるものとする。